

共生

奈良県生協連

2010年4月

NO.76

万葉のいぶきを求めて—(41)



滝の河内 宮滝の激流

山高み ^{しらゆふばな} 白木綿花に 落ちたぎつ ^{たぎ かふち} 滝の河内は 見れど飽かぬかも
^{かさの} 笠 ^{かな} 金 ^{むら} 村

ゆるやかに流れてきた吉野川は中荘小学校の横に架かる柴橋の上手の大岩盤に当たって激流となる所が「たぎの河内」と呼ばれていたようです。万葉の昔は今日よりもはるかに水量も多く、この付近で激流となったのでしようが、水量の少なくなった今日ではその姿は見られません。岩場の少し東側、小学校の前あたりで激流をしのぶことが出来ます。

白木綿花は楮^{こうぞ}の繊維をさらした白い布で作ったアートフラワーとも言われます。

「一気に流れ落ちる水は、パッと散って白い花を咲かせたようだ。いつまで見ても見飽きないよ」この歌は、笠金村が元正天皇の行幸に従って吉野を訪れた時の歌です。平城京の大宮人には吉野の深い山、自然の力あふれる姿は驚異だったのでしよう。

淀んだように流れて来た水が岩場に入ると、突如として激流となって白木綿花を咲かせ飛び散る自然の妙に釘づけになってしまいます。

おかげさまで20才になりました

奈良県生活協同組合連合会 20年の歩み

1990年 3月8日 奈良県生活協同組合連合会5生協
で設立総会
アースデイ・市民平和行進・生協大会開催

1991年 県行政との協議会（以降毎年開催）

1992年 ICA 東京総会開催

1993年 奈良県協同組合連絡協議会設立総会
奈良県農業協同組合中央会、奈良県農業協同組合、
全国共済農業協同組合連合会奈良県本部、奈良県
森林組合連合会、奈良県生活協同組合連合会、武
内哲夫氏(学識者)

1994年 ひまわり号列車（障害者ツアー）ボランテ
ィア参加（～2003年）

1995年 奈良県立商科大学（現奈良県立大学）生協
設立

県消費生活審議会、環境審議会委員に委嘱
される
以降様々な分野で関係づくりができる

奈良YMCA「反核・平和のつどい」後援

1996年 奈良の食文化研究会設立参加

奈良工業高等専門学校生協設立、樟蔭女子
短期大学生協設立

自然災害に対する保障制度を求める県民会
議結成に参加（事務局奈良県労済生協）

1997年 おやさと生協解散

近畿2府4県による「大規模災害時における
応急物資等に関する協定」締結

1998年 奈良県・県連・ならコープ三者による「緊
急物資供給協定」締結

つながり祭（奈良教育大学で開催される障
害者の祭典）参加

1999年 生協法制定50周年記念生協大会に日本生協
連会長、奈良県知事、県議会議員、奈良市
長来賓参加

厚生大臣表彰（稲川和夫氏、ならコープ）

2000年 「食品安全行政の充実強化を求める請願」
署名（265,000筆）県議会各派懇談

2001年 食の安全懇談会立上げ

2002年 BSEに関する要請活動

「イラクへの軍事攻撃の即時停止を求める
声明」とノーモアウオーのつどい（11団体）

2003年 コープ自然派奈良設立
大学生協合同企画（新年交流会）

*消費者基本法成立。鳥インフルエンザ、京
都で発生

奈良市民生協（現ならコープ）
奈良県労済生協、おやさと生協
奈良教育大生協、奈良女子大生協

アースデイ、市民平和行進（現ピースア
クション）、協同組合デー、生協大会、ひ
まわり号、つながり祭、「反核平和のつ
どい」など、開催・後援・参加

2004年 *消費者被害急増
厚生労働大臣表彰（伊藤次栄氏、奈良県労
済生協）

福井・京都集中豪雨被害に対する災害ボラ
ンティア派遣

2005年 消費者問題研究会「こむらいふ奈良」設立
防災対策の強化をすすめる

近畿地区生協・行政合同会議奈良開催
消費者支援機構関西設立参加

NPT 再検討会議への代表派遣、被爆60周年
記念生協大会「筑紫哲也講演会」

2006年 *生協法改正の動き、国会議員要請訪問

ウィルコープなら（現：生活クラブ生協）設立
県連ホームページ開設

*中国ギョーザ事件発生

2007年 *生協法、60年ぶりの改正（県域・員外利用枠
の緩和、ガバナンス強化、共済分離など）

核兵器廃絶に向けた取り組み、温暖化防止
活動の取り組み

2008年 地連管内12府県連による「震災等大規模災
害における応急物資等に関する相互支援協
定」締結。

「県連のあり方検討会」でビジョン論議

「温暖化防止 COP15 ネットワーク関西」
設立参加

「奈良の消費者行政を考える会」設立参加

厚生労働大臣表彰（瀧川潔氏、奈良女子大
学生協）

2009年 *消費者庁発足。新型インフルエンザの蔓延。

賀川豊彦献身100年記念シンポ（9団体実行
委員会）開催

COP15気候変動枠組み条約締約国会議に代
表派遣

*は社会情勢

2010年度 奈良県生活協同組合連合会が取り組むこと

☑ 県連創立20周年の取り組み

- ・ 会員紹介パンフ・県連の歩み(仮)等の発行
- ・ 平城遷都1300年と連動して「共生(万葉のいぶきを求めて)」ダイジェスト版作成
- ・ 記念式典の開催
11月20日(土) 奈良ロイヤルホテル

☑ 食を取り巻く課題

- ・ 食の安全懇談会を中心に条例などの学習
- ・ 自給力アップと農林業との連携
- ・ 食育推進と奈良の食文化を知る

重点課題

- ☆ 県連創立20周年事業の成功
- ☆ 食料・農業問題、食品の安全・食育推進の課題
- ☆ 核兵器廃絶と国民投票法の施行に伴う憲法学習
- ☆ 消費者課題の推進、消費者市民社会づくりの課題
- ☆ 県連ビジョンの具体化

☑ 消費者を取り巻く課題

- ・ 地方消費者行政の充実に向けた課題
- ・ 消費者市民社会づくりと消費者力アップの課題
- ・ 県消費生活センターやKC's、友誼団体との連携

☑ 環境を取り巻く課題

- ・ 他団体と連携した温暖化防止の取り組み
- ・ アースデイ開催、生物多様性条約会議の情報提供

☑ 防災の課題

- ・ 緊急物資供給協定による県との連携強化
- ・ 社会福祉協議会と連携、災害ボランティアの育成支援

☑ 平和を取り巻く課題

- ・ NPT(核兵器不拡散条約)再検討会議の成功と核兵器廃絶に向けた取り組み
- ・ 国民投票法施行にあたって憲法を学ぶ取り組み
- ・ ピースアクション企画
6月5日(土) 伊藤千尋氏講演会 & NPT報告会

☑ 県連ビジョンの具体化

- ・ 行政・協同組合・友誼団体との連携、ネットワーク化の推進
- ・ 福祉(医療や子育て)分野の充実強化への支援
- ・ 県連運営の強化と組織づくり

■ 主要日程 ■

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 4月 アースデイ [24日(土)] | 8月 地域生協組合員理事交流会(未定) |
| 6月 ピースアクション [5日(土)] | 9月 近畿地区生協・行政合同会議[1日(水)] |
| 県連第21期通常総会 [19日(土)] | 11月 県連創立20周年記念式典 [20日(土)] |
| 7月 協同組合デー(未定) | 3月 会員生協役職員研修(未定) |

もくじ

おかげさまで 20才になりました…… 1	環境のページ…… 6
2010年度 奈良県生協連が取り組むこと…… 2	ピースアクション2010 in なら…… 7
消費者庁発足記念シンポジウム…… 3	奈良県生協連第21期通常総会…… 7
食の安全シリーズ No.1…… 4	広がる協同・くらしの輪…… 8
高専生協におじゃましました…… 5	つながる連帯・友好の輪…… 9

消費者庁発足と地方消費者行政の課題と展望 ～新たな消費者市民社会の構築に向けて～

2月3日、奈良弁護士会館において奈良県・奈良弁護士会・奈良の消費者行政を考える会共催、奈良県消費生活相談員連絡会協賛でシンポジウムが開催され、105名の参加がありました。

消費者、相談員や弁護士、事業者、市町村行政からの広範囲の参加でしたが、課題の共有化ができました。

消費者庁 赤井久宣氏から特別報告として「地方消費者行政強化プランについて」の報告をいただき、基調講演は片山登志子弁護士（消費者支援機構関西（KC's）副理事長）に「消費者を取り巻く問題、消費者基本法と消費者庁発足」と題して講演いただきました。片山氏は「消費者被害の現状と消費者庁発足までの経緯、被害防止のための情報の収集と発信の重要性、消費者市民社会を創るためにも消費者自身が能動的に行動し、行政や企業と双方向のコミュニケーションをはかることが重要」と、事例を挙げて話されました。



パネルディスカッションでは、県消費・生活安全課 山菅善宣課長、奈良市 仲川げん市長、奈良の消費者行政を考える会 仲宗根迪子氏、消費者関連専門家会議（ACAP）西日本支部長 馬場新一氏よりそれぞれの取り組みの報告があり、行政の財政難、地域組織の弱体化、市民の関心の低さが消費者行政の位置付けを低くしている、消費者の苦情内容の変化等、課題提起されました。

ディスカッションでは消費者行政の充実のために広域連携の可能性やネットワーク化、消費者教育や啓発では市民組織の育成、連携の可能性などをテーマに意見交換されました。



アンケートは42枚回収され「消費者庁の動きが見えていなかったが、積極的に現場を回られていることが良くわかった」「消費者市民社会という新しい考えが新鮮」「情報提供と公表の大切さ、双方向のコミュニケーションの重要性を再認識した」「消費者・行政・事業者からそれぞれの視点の話があり、バランスが取れてよかったが、ディスカッションの時間が短かった」「消費者行政の位置付けが重要。条例が生駒市だけというのも残念」「ACAPのことを初めて知った」「消費者としての気付きがたくさんあった企画でした。『知ること』を継続するのは我々自身の課題だが、KC'sのような発信がすみずみまで届くよう望みます」など、気付きの多い企画となりました。

*** 消費者ホットラインがスタート ***

お近くの相談窓口の番号が分からない時は

0570-064-370 (ゼロ・ゴ-・ナナ・ゼロ 守ろうよ みんなを)



「生協はこれまで食品安全行政に対し 様々な取り組みを行ってきました」

現在の私たちの食卓は加工食品や輸入食品で豊かになった一方、生産現場から食卓まで遠くなってきています。一人ひとりの「選んで買う」行為や生協の努力だけでは対応が困難なことが多くなる中で、様々な立場の人たちが関わりながら社会的に解決し、その過程がオープンになることなどを「社会的なしくみ」として確立することが求められていました。そこで食の安全を求める運動を全国の生協とすすめました。

全国の生協ですすめた食の安全を求める運動の経過

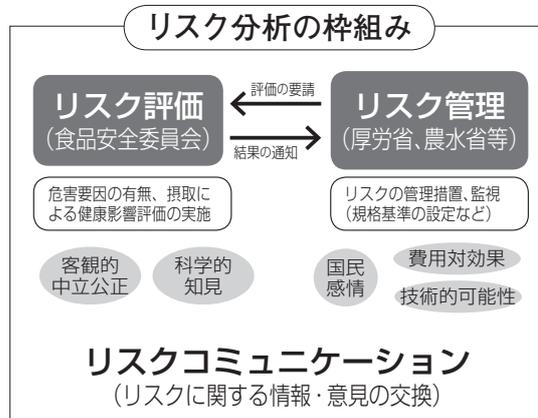
○は国・地方自治体など ●は生協の取り組み

1995年	○食品衛生法改正（食品添加物規制の見直し、残留農薬基準策定の推進など）
1999年	●食品安全行政の充実強化を求める署名活動 （国民の健康保護を明記、消費者の政策参加、残留農薬基準のポジティブリスト制を要求） ⇒全国で約1370万筆の署名集約
2000年	●食品安全行政の充実強化を求める請願の国会提出
2001年	○食品安全行政の充実強化を求める国会請願採択 ★国内で初のBSE 罹患牛発症確認（9月）
2002年	●地方自治体の食品安全行政の充実、食品安全委員会などの充実を求める取り組み ○「BSE問題に関する調査検討委員会報告書」（食品安全の基本原則、リスク分析の考え方、食品安全基本法制定、組織体制の整備、既存法の見直し等を提言）
2003年	○食品安全基本法制定、食品衛生法改正 <ul style="list-style-type: none"> ●国・地方公共団体、食品関連事業者の責務、消費者の役割が条文に規定 ●リスク分析（下図「リスク分析の枠組み」参照）の考え方による食品安全行政の規定が明記 ●国民・住民からの意見聴取はじめ、リスクコミュニケーションに関する規定が明記 ○地方自治体で「基本方針」「基本計画」策定 → 「基本条例」に発展 ○住民の意見を聞いて食品衛生監視指導計画を策定・運用 <ul style="list-style-type: none"> ●各地方自治体の審議会、県民会議へ参加 ●監視指導計画案への意見表明 ●意見交換会、県民ネットワークなどに参加

「消費者は食品の安全性確保についての知識と理解を深めるとともに、施策について意見を表明するように努めることによって安全性の確保に積極的な役割を果たす」（食品安全基本法第9条）とあります。

食品を扱う事業者でもあり、消費者組織でもある生協は、積極的にかかわることを期待されています。

食に関わる様々な問題の発生を教訓として、国民の健康保護を最優先に食品の安全確保に取り組むため、2003年に食品安全基本法を制定するとともに、食品安全委員会の設置や関係行政機関の再編による新たな食品安全行政を発足させました。これは画期的なことでした。現在、関係府省が連携して、食品をとおして有害微生物や有害化学物質等を摂取することによる健康への悪影響の発生を防止、また抑制するために科学に基づいたリスク分析を活用して総合的な施策を展開しています。その後2009年に消費者庁ができ、情報が一元化され、消費者の意見をどう活かすかこれからの課題です。



高専生協におじやました

高専に生協ができたのが全国で初めてだったという「奈良工業高等専門学校生協」。学生さんの「食べること」や「くらし」や「気づき」を応援しようと様々な取り組みが行われています。

「つながりをたいせつに」 ～奈良工業高等専門学校生協の巻～

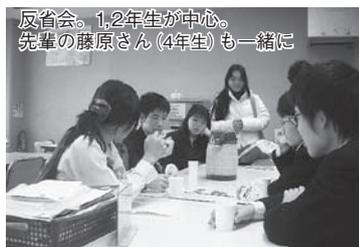
2月2日、生協学生同好会（大学生協の学生委員会にあたります）のみなさんの「ケーキ喫茶」がオープン。そこで取材に行ってきました。



入り口の看板に案内が



食堂入り口から長蛇の列



反省会。1,2年生が中心。先輩の藤原さん(4年生)も一緒に

ケーキ喫茶 [Amore] 開店

2月2日から4日まで午後3時から生協の食堂でコーヒー付きでケーキを150円で食べられる！

そんな情報を聞きつけて、生協の食堂前は学生さんたちの長蛇の列。

並んでいる学生さんに聞いてみました。物質科学が専門の5年生西口さん。生協は普段は利用していないけど150円ケーキと聞いてやってきたそうです。普段生協ファンの2年生の萩原さん、中島さん。「生協の食堂はうまい！特にササミチーズフライとカレー。お得でおいしくて速い」とベタほめ。友達みんなでケーキを食べに来たとのこと。美味しそうに食べる学生さんたち。大人気で、30分ほどで売り切れ。並んでいた方には大変申し訳ありませんでした。あすのご来店をお待ちいたします。



ケーキ下さ〜い。裏方は大忙し。



生協食堂大ファンの2年生。「ケーキ、うめ〜！」とほおぼってくれました。



学生同好会のお菓子チームのおすすめ「お菓子コーナー」



電子レンジ導入は組合員の声から

友だちに誘われて。お菓子が食べられる!?

ケーキ喫茶「閉店」後の反省会。ケーキはあっという間に売切れ。限られた予算で明日あさっての配分を再検討。「お湯の手配はスムーズにいこう」「お茶が美味しくなかったから変えよう」「出口は明記しよう」「整理券を配布しよう」など生協学生同好会の1～2年生のみなさんが真剣に改善点を話し合っていました。委員長の魚谷果那さん(2年生)は、新生生のときに奈良高専生協のガイド「生協タイムズ」を見て生協の活動に入ったそうです。お菓子が食べられる、旅行に行ける、友達に誘われてと入った動機は様々でも、みんなで話し合ってみんなのために改善策を考え決めていくことを大切にしています。奈良工業高等専門学校は1～5年生と専攻科の学生が在籍。生協学生同好会は大学生協の学生委員よりもさらに若い1,2年生を中心にがんばっていました。



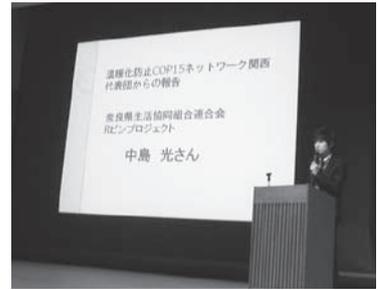
「ひとつことカード」は大切なコミュニケーションツール

ぶ厚い綴り。カードはイラスト入りで大作揃い。パート職員の奥村さん、粉家(こおや)さんは「5年間ありがとう」というカードに胸を熱くしたそうです。卒業アルバムの写真を撮らせてくれと言われたこともあったそうです。うれしいですね。

「今こそ行動を！」

～ COP15報告を300名に伝えました～

奈良県生協連派遣の中島光さん（奈良県立大学2回生・Rびんプロジェクト）は、大阪や奈良県内で約300名の人に気候変動枠組み条約第15回締約国会議（COP15）の様子を伝えました。COPの会場で聞いたマータイ氏の「今こそ行動すべきだ！！議論は十分済んでいる。私も行動を起こす。皆さんと一緒に」の言葉に感動を覚えたという感想を述べられました。



「温暖化防止COP15ネットワーク関西」
主催 報告会（於：大阪歴史博物館）

報告会実施状況

- 1月20日 奈良県立大学「環境政策論」（村木正義講師）講義内
- 1月21日 奈良県生協連理事会にて報告
- 1月23日 温暖化防止 COP15 ネットワーク関西報告会
- 2月13日 ならコープ主催 COP15報告会
- 2月16日 奈良市地球温暖化対策地域協議会「エコエコサロン」
- 2月20日 大学生協京都事業連合理事会にて報告
- 2月22日 生活クラブ生協理事会にて報告
- 3月16日 コープ自然派奈良主催 講演会



ならコープ主催 COP15報告会
（於：奈良県中小企業会館）

奈良県生協連も加入する「温暖化防止 COP15 ネットワーク関西」では、COP15 で先送りされた課題を COP16(メキシコで 11～12月開催)で国際社会が合意し、日本国内での実効的な取り組みをすすめるように、今後も市民の立場で見守っていきます。



アースデイ 2010 in なら

開催日時 4月24日(土) 9:45～14:30

少雨決行
入場無料

当日是非お持ちください
使用済みてんぷら油
不用な食器(交換や再利用に)
不用なハンカチ(エコ宣言)

場所 奈良県流域下水道センター 自由広場

近鉄橿原線 ファミリー公園前下車すぐ ※できるだけ公共交通機関でお越下さい

内容 大和川河川敷清掃、ミニコンサート、環境保全活動紹介、もったいない陶器市、木・竹工作、レーシングカーと写真を撮ろう、模擬店、フリーマーケット、葉っぱ図鑑をつくろう(40名)、野鳥観察(40名)、木製プランター(50名)、廃油せっけん(20名)、草木染め(20名有料)、タンポポ調査(50名)など

◎定員のあるものは申し込みが必要です

お問合せ・お申込 ならコープ CSR 経営管理 TEL:0742-33-9516

2010年 生物多様性条約 締約国会議 COP10 が名古屋で開催されます！

多様な生き物や生息環境を守り、その恵みを将来にわたって利用するために結ばれた生物多様性条約では、10回目の締約国会議「COP10」が2010年10月、名古屋で開催されます。2010年は国連が定めた「生物多様性年」。COP10は節目となる重要な会議です。

COP10 スケジュール

2010	10/11	10/15	10/18	10/29
	カルタヘナ議定書第5回締約国会合		生物多様性条約第10回締約国会合	
			開催総会(10/27-29)	

開催場所 会場：名古屋国際会議場(名古屋市中熱田区)
関連会場：白鳥会場、愛・地球博記念公園、栄地区

COP10 での主な議題(想定)：2010年目標(※1)の達成状況の検証と新たな目標(ポスト2010年目標)の策定について 遺伝資源へのアクセスと利益配分に関する国際的な枠組みの策定について など

※1 2010年目標：2002年のCOP6で採択された「生物多様性の損失速度を2010年までに顕著に減少させる」という目標

《開催国(日本政府)は議長国として協力》

自然の恵みに感謝！ 身近な自然を大切に！ 環境にやさしい生活を！

世界の平和のために私たちができること

～核兵器不拡散条約(NPT)再検討会議からみえてきたもの～



ジャーナリスト
伊藤千尋さん

■プロフィール

1949年山口県生まれ。中南米特派員、「アエラ」創刊編集部長、バルセロナ支局長など歴任。ロサンゼルス支局長として9・11を体験その後アメリカ社会を精力的に取材。「シネ・フロント」等にも執筆し、昨年は100ヶ所で講演。

なくすのはいま！

核兵器のない平和な社会の実現を！

世界を見てきたジャーナリストが教えてくれます！

NPT 派遣者も報告します！

NPT 再検討会議が、5月に開催されます。今こそ、核兵器廃絶のために私たちが出来ることは何か、ともに考え、暮らしの場から世界に発信していきましょう。一人ひとりが考え、語り、行動することできっと変えられます。

日時

6月5日(土) 午後1時30分～4時

場所

奈良県中小企業会館 4階大会議室

参加費
無料

保育有り

8ヶ月～未就学児の保育を受け付けます。
事前にお申し込みください。(保育は有料300円)

奈良県生協連第21期通常総会開催について

[公告]

当会 定款第49条にもとづき、奈良県生活協同組合連合会第21期通常総会を下記の通り、開催致します。

記

1. 日 時 2010年6月19日(土) 通常総会 10:00～12:30
(終了後、懇親会 ～14:30)

2. 会 場 猿沢荘3階「わかくさ」
奈良市池之町3 0742-22-5175

3. 議 案

- 第1号議案 2009年度事業報告・決算関係書類承認の件
- 第2号議案 2010年度事業計画及び予算案決定の件
- 第3号議案 役員選任の件
- 第4号議案 役員報酬決定の件
- 第5号議案 議案決議効力発生の件

4. 代議員の選出について

会員規約第3条及び第4条にもとづき、代議員は、会員ごとに定める選出方法により選出し、会員生協の定数は3人とします。

広がる協同・くらしの輪

□ Yes! キャンペーンに協力し県下の市町村を訪問

Yes!キャンペーン実行委員会による市町村訪問が3月4日5日に行われ、YMCAとともにピースアクションをすすめる会で支援を行いました。Yes!キャンペーン実行委員会の寺本貴司氏（広島平和文化センター・被爆体験証言者）の訪問に奈良YMCA藤井辰男総主事、市原大資前わかさの会会長とともに、「すすめる会」より仲宗根（県連）、伊藤・中野（ならコープ）、児玉（ならコープ平和の会）、新田（県連）が参加しました。2日間で7市11町1村で「ヒロシマ・ナガサキ議定書」への賛同署名を要請しました。



□ 奈良県北部を震源とするマグニチュード7.5の地震発生を想定した大規模災害図上演習に100人が参加

主催：日本生協連関西地連大規模災害対策協議会

1月19日、奈良県北部を震源とするマグニチュード7.5の地震が発生し、死者1200人、不明者400人などの被害が出たと想定した近畿地区6府県の図上演習が行われました。

当日は、奈良県から防災統括室、協働推進課、消費・生活安全課、県社会福祉協議会からも参加、協力を得て行われました。被災県として奈良県生協連（奈良県労済生協も参加）とならコープで合同対策本部を立上げ、行政からの物資要請への対応やボランティアの取り組みを、近隣の府県連から支援を受けながらの演習を実施しました。参加者は演習を通じて明らかになった課題を抽出し、今後さらに相互の連携・支援を強化していくための対策を検討しました。



□ 災害時等の応急生活物資の供給協定を奈良県・奈良県生協連・ならコープが締結（2月2日）

奈良県・奈良県生協連・ならコープの三者による「緊急物資供給協定」は1998年に締結されていましたが、締結後11年余り経過していることや近年大きな災害が多発していることから、協定がより実効性のあるものにするため見直しを進めてきました。2月2日に「災害時等における『緊急物資供給協定』締結式」が行われ、奈良県 川端 修危機管理監、奈良県生協連 瀧川潔会長、ならコープ森宏之理事長の三者で協定書の交換が行われました。



つながる連帯・友好の輪

□県知事と新年名刺交換会に出席（1月4日）

1月4日 年始恒例の県知事との新年名刺交換会が、県庁にて開催されました。

「平城遷都1300年祭の今年は、県内各地で一年間を通して多彩な行事が展開されますが、訪れた方々に奈良の魅力を味わっていただくよう、もてなしの心を持ってお迎えしましょう」との知事のご挨拶の後、賀詞交換が行われました。奈良県生協連からは、瀧川会長、仲宗根専務理事が出席しました。三輪副会長は、労済生協専務理事として出席しました。



□全岐阜県生活協同組連合会の研修（2月18日19日）

2月18日19日に 岐阜県生協連の皆さんが来訪され、奈良県生協連から瀧川会長、仲宗根専務理事が奈良県生協連の活動、とりわけ「奈良の消費者行政を考える会」の取り組みを報告しました。



□映画会「未来の食卓」（主催：コープ自然派奈良）（1月15日）

農薬による土壌汚染・食生活習慣から健康をむしばまれガン患者の増加を危惧した会議場面から映画は始まります。すべての学校給食を自然の味にしようとする南フランスの小さな村が立ち上がり、食卓から始まった奇跡が人々の



幸せを紡いでいったドキュメンタリー映画。小さな子どもを持った女性が目立ち、関心の高さがうかがえました。「値段だけのことでなく『食の質』の問題。家族のことから農業のあり方、温暖化問題などすべてにつながる。食生活を見直そうと思った。」との参加者の感想。3回上映で205名が鑑賞。



□リスクコミュニケーション「食品のリスクとのつきあい方—食中毒をテーマに」

1月29日（金）於：奈良県文化会館（主催：奈良県消費・生活安全課）
今村知明氏（奈良県立医科大学）の基調講演後、食品安全委員会事務局の新本英二氏、HACCP 専門家の上田修氏、ならコープの森宏之理事長、奈良県消費・生活安全課の姫野隆明課長補佐より、それぞれの立場から食中毒被害を防ぐ取り組みの報告があり、パネルディスカッションが行われました。食品事業関係者や消費者や行政など多数参加し「食中毒」をテーマに、リスクコミュニケーションの場となりました。



□「奈良県の食の安全を考える学習会」

2月22日(月) 於:奈良商工会議所(主催:奈良県生活協同組合連合会) 会員生協の理事、職員を対象に、奈良県消費・生活安全課の姫野隆明課長補佐や京都府生協連の坂本茂事務局長を講師に「奈良県の食の安全を考える学習会」を開催しました。26名が参加し、京都府の食品安全推進条例制定のいきさつや奈良県の食品の安全確保の取り組みについて意見交換をしました。



□学習会「科学ライターから見た食卓の安全学」(主催:ならコープ)

2月9日(火) 於:あすなら苑 講師:科学ライター 松永和紀氏 消費者はマスコミに躍らされている。次のステップを踏み出そうと問題提起。国産がいいに決まっているが輸入食品を否定しては日本の食卓は成り立たない。食に関しては安全性、環境影響、コスト、持続可能性、おいしさ、文化、安心感を検討すべきであり、食品添加物は極めて重要な役割を持つ。科学的に考え、温暖化問題への対応も必要。金持ちだけの安全ではいけない。生協は情報公開し消費者と討論して『行き過ぎた食の安全』の考え方を改善するリーダーの役割を担ってほしいと話されました。



□近畿農政局と近畿地区生協府県連協議会との意見交換会に出席(3月16日)

近畿農政局と近畿地区生協府県連協議会との意見交換会が開催されました。

近畿農政局からは塚本和男局長はじめ9名が参加され、生協は近畿2府4県連役職員や日本生協連関西地連から24名が参加しました。近畿農政局中山直子企画調整室長から、「新たな『食料・農業・農村基本計画』」について報告されました。つづいて、「戸別所得補償制度モデル対策」「平成22年度組織・定員改正主要事項」「近畿食と農アクション宣言」についてや生協の取り組みについて報告があり、自給力や農業の再生等について活発な意見交換が行われました。



□仲宗根専務がJR西日本企業倫理委員に就任しました

JR西日本の取締役会の諮問機関として「企業倫理委員会」が設置され、社外委員に仲宗根専務理事が就任することになりました。第1回委員会が2月23日に開催され、年4回の会議に出席します。

奈良県生協連第5回理事会報告 1月21日(木) 奈良県文化会館

[主な審議事項]

- (1) 2010年度方針骨子の件
- (2) 2010年度(第21期) 県連通常総会の準備等に関する件
- (3) 2010年度役員選任に関する件
- (4) その他事項の件
 - ① 県連会員生協役員研修の件
 - ② 滋賀県連役員研修の講師(2月13日)、岐阜県連役員研修の受け入れ(2月18日、19日)
 - ③ 奈良県・奈良県生協連・ならコープの緊急物資協定の改定について
 - ④ 県連創立20周年記念事業の準備について

県連日誌

1月

- 4日 知事新年名刺交換会
- 14,15日 日本生協連政策討論集会
- 19日 関西地連大規模災害近畿地区生協図上演習
- 21日 県連理事会
- 22日 関西消費者団体連絡会関西電力懇談会
- 22日 近畿厚生局訪問
- 23日 COP15 ネットワーク関西「COP15 報告会」
- 25日 ピースアクションすすめる会
- 29日 シンポジウム「食品のリスクとのつき合い方」

2月

- 2日 緊急物資供給協定締結式
- 3日 奈良の消費者行政を考える会「消費者庁発足記念シンポジウム」
- 4日 日本生協連関西地連運営委員会
- 14日 奈良 YMCA 「反核・平和の集い」
- 16日 奈良市地球温暖化対策地域協議会「エコエコサロン」
- 18日 奈良県福祉まちづくり協議会
- 18,19日 全岐阜県連来訪
- 22日 奈良県の食の安全学習会
ピースアクションすすめる会

3月

- 2日 奈良の消費者行政を考える会世話人会
- 4,5日 Yes!キャンペーン県内市町村訪問
- 4日 奈良県建築物安全安心推進部会
- 12日 日本生協連関西地連大規模災害対策協議会
- 16日 近畿農政局意見交換会
- 18日 奈良県連会員生協役職員研修会、奈良県連第6回理事会
- 19日 食と農の県民会議運営委員会
- 24日 防災プラットホーム連絡会
- 31日 ピースアクションすすめる会

お知らせ

書籍の紹介

『さいごのトマト』 竹本成徳 / 著

ここに書いた体験は、すべて私自身の「ことば」です。そして、わたしの姉へ「戦争というおろかなことを繰り返さない」と約束した「ことば」です。被爆した13歳のときから今まで、自分自身に、そしてみなさんに問いかけている「ことば」でもあります。



著者プロフィール

竹本 成徳 (たけもと・しげのり)
1931年生まれ。1993年～2001年コープこうべ理事長、元日本生協連会長。広島市出身。旧制広島修道中学校2年生の時、広島市で被爆。
現在 (財)日本ユニセフ協会兵庫県支部長

発行元：日本生活協同組合連合会
発売元：コープ出版(株)
定 価：1,050円(税込)

編集後記

▼ 一九九十年三月に奈良県生協連が生まれました。やっと二十歳ですが、年令には関係なく県連として求められる役割があります。まだまだ不十分な所もありますが、お陰さまで会員生協や多くの関係団体のご支援がありここまで来ることができました。11月にささやかな感謝のつどいを予定しています。やっと成人になった奈良県生協連を今後ともよろしくお願いいたします。(迪)

▼ 我が家のサクラ(シナノミザクラ)が例年より10日ほど早く咲きました。雨続きでミツバチの羽音が聞こえない日が続きました。5月にはサクランボがなるはずですが、気温の変動が激しく虫たちも困惑しているようです。今年の実はたくさんなるでしょうか? 5月ゴールデンウィークが明けたく、県連事務所にお寄りください。産地直送・減農薬(我が家では無農薬は無理)のサクランボを食べられるかも。(順)

▼ いよいよ新年度です。奈良県は遷都千三百年祭が盛大に取り組まれます。奈良県連では今年に県連創立二十周年の記念企画が取り組まれます。節目の年として次へのステップに繋がればと思います。(和)